

創刊15周年記念
連載

東京・日本橋〜京都・三条大橋

東海道五十三次を往く

第6回

ミスモ編集部が巡るプロジェクト。今回は、日本橋から約80km、東海道有数の規模を誇ったという小田原宿を辿りました。

小田原宿

東西に難所を控え
多くの旅人が滞在

東に酒匂川の徒歩渡り、西に箱根越えが控える小田原は、宿泊者が多く、90の旅籠、4つの本陣、4つの脇本陣と、東海道随一の数を誇る宿場町。そのため、かまぼこや小田原提灯などの名物が広く知れ渡り、江戸期から続く老舗も多く残る。城下町内に宿場町の機能をもつ特有の町割で、町屋は東海道に連なり、宿は東西約2.2km、南北約990mに集中していたという。街道にある江戸期の町名碑を頼りに巡りたい。

かまぼこ伝統館(丸う田代内)

老舗かまぼこ店、「丸う田代」の店内では、昔のかまぼこ作りの器具や資料を展示。手作りの様子をビデオで見られる。



おみやげ

丸う田代

☎0465-22-9221
神奈川県小田原市浜町3-6-13
◎8時～19時 ◎無休

明治元年創業から受け継がれてきた伝統の製法で作る。魚の旨みが凝縮され、味わい深い。

小田原蒲鉾 上小板
各930円



酒匂橋周辺

江戸時代、小田原を流れる酒匂川に橋はなく、人足で渡っていた。雨などによる増水で水深が胸あたりになると、川留めになることもあり、旅人にとっての難所であった。



江戸口見附・一里塚

小田原城は町全体、堀や土塁で囲っていたが、東海道を通す際、これを壊して柵形門を造り、見附(見張り番所)を設けた。日本橋から4kmごとに設けられた、20番目の一里塚があった場所でもある。

かまぼこ通り

小田原かまぼこ発祥の地で、かまぼこ店の本店が連なる通り。かつて魚市場だった場所でもあり、干物や鰹節を商う店、海鮮料理の店も。





清水金左衛門本陣跡

小田原宿筆頭の清水金左衛門本陣があった場所。敷地は約240坪で、大名、宮家などの宿泊に利用された。後に、明治天皇も宿泊。



松原神社

創建は不明。後醍醐天皇の頃、真鶴が棲んだことから、「鶴の森明神」と称した。北条氏が小田原を治めるに至って社領を寄進するなど、代々崇敬。小田原宿の総鎮守に。小田原海岸に現われた大亀を北条氏康が吉兆として参詣したことから、境内には石亀像もある。



小田原宿なりわい交流館・宮ノ前町周辺

昭和7年建設の旧網問屋を再整備し、市民や観光客の憩いの場として開館。江戸時代の古地図などの展示もあり、現在の小田原の街並との比較ができる。

☎0465-20-0515 神奈川県小田原市本町3-6-23

🕒10時～18時(4月～10月は19時まで)

🚫無休(臨時休業あり) 入場無料



屋上から市街地を一望



脇本陣古清水旅館 資料館

小田原宿の本陣、脇本陣をつとめ、明治時代は伝統ある老舗旅館として客をもてなしたが、昭和20(1945)年8月15日未明、最後の空襲で灰燼に帰す。平成10(1998)年に高齢者賃貸マンション「プラージュ古清水」となった現在の建物の2階が資料館で、往時の宿帳や漆器類などのほか、山県有朋が伊藤博文に宛てた手紙なども展示。訪問前にお電話を(090-1538-4589/清水)。

食



明治26年の創業。国の登録有形文化財になっている重厚な建物で、胡麻油100%で作る名物の天井や海鮮料理がいただける。天重セット(お椀・香の物付)2,500円+税。

だるま料理店

☎0465-22-4128

神奈川県小田原市本町2-1-30

🕒11時～21時(L.O.20時)

🚫無休



小田原城

前身は、室町時代に西相模一帯を支配した大森氏の山城。戦国時代には小田原北条氏の本拠地となり、江戸時代に大久保氏によって、関東地方の防御の要に。平成28(2016)年、天守閣の耐震改修工事、展示の大規模リニューアルが行われた。



次ページへ続く!



いろいろ
外郎博物館(ういろう内)

外郎家ゆかりの品を展示。独特な店構えの理由や「ういろう」の名の由来、伝統の菓子と菓の起源、歌舞伎十八番「外郎売」との関係などを紹介する。建物は、明治18(1885)年築の蔵を利用したもの。入館無料、ガイド付き。



ういろう(茶・小豆など) 1棹600円+税～
外郎家が国賓接待に供した米粉の蒸菓子がはじまり。もてなしの菓子として、今も小田原のみで販売する。

ういろう
☎0465-24-0560
神奈川県小田原市本町1-13-17
🕒10時～17時 📅水曜、第3木曜

おみやげ



欄干橋町(らんかんはしちよう)周辺

北条早雲に招かれて以来500年、独特な店構えを誇る「ういろう」の周辺を昔は欄干橋町といった。江戸時代には小田原宿の中心地、参勤交代の大名が宿泊する本陣もあったという。

中宿周辺

中宿には、人足や馬による輸送の取り継ぎ所「上の問屋場(かみのといやば)」が置かれていた。江戸時代末期には脇本陣があり、旅籠も11軒ほどあった。写真右は御用商人、小西家(関東大震災後建て替え)。



片岡永左衛門本陣跡

明治11年に明治天皇が宿泊した、片岡本陣のあった場所。片岡家の永左衛門は、明治時代に小田原町の助役を務め、小田原の近代史研究にも功績があった。



おみやげ

小田原で日本料理店と菓子舗を営む「右京」。十返舎一九の東海道中膝栗毛にちなんだ、「東海道小田原宿 弥次さん 喜多さん」シリーズの和菓子を販売。

菓子舗 右京

☎0465-23-7878
神奈川県小田原市本町4-3-29
🕒9時～18時
📅月曜(祝日の場合は翌日)



明治40年から愛され続け、ほんのり甘みのある味が人気の「鯛めし」830円

明治21年創業の駅弁メーカー。当時は、竹の皮包みの握り飯を販売していた。名物「鯛めし」のほか、小田原にゆかりのある食材を使った多彩な弁当を、小田原駅構内や駅周辺売店で販売。

東華軒

☎0465-47-3171

小田原の地名が「小由留木(こゆるぎ)」の草書体を読み誤ったという説にちなんだ「デラックスこゆるぎ弁当」950円



うめ〜い 梅しそ飴 411円

一夜城石がき焼(醤油) 486円

東海道 五十三次を往く 小田原MAP



小田原宿周辺 早春のイベント紹介



2/4(土)~3/5(日)

第47回小田原梅まつり

曾我梅林や小田原城址公園などの各会場にて、白梅の花を眺めながら楽しめる多彩なイベントを開催。2/11(祝)は曾我梅林、原会場で迫力ある伝統行事、第31回流鏑馬神事が行われる。

問い合わせ
0465-2
nt. www